



平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年9月27日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 西松屋チェーン
コード番号 7545 URL <http://www.24028.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大村 禎史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 藤田 正義

四半期報告書提出予定日 平成24年10月3日 配当支払開始予定日

TEL 079-252-3300
平成24年11月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第2四半期の業績(平成24年2月21日～平成24年8月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	59,813	1.7	3,090	6.2	3,209	5.7	1,742	31.0
24年2月期第2四半期	58,806	2.0	2,910	△25.6	3,036	△24.7	1,330	△42.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	26.06	—
24年2月期第2四半期	19.77	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第2四半期	69,489	49,593	71.0	739.36
24年2月期	67,380	48,832	72.1	723.42

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 49,366百万円 24年2月期 48,606百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	9.00	—	10.00	19.00
25年2月期	—	9.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	10.00	19.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の業績予想(平成24年2月21日～平成25年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	122,625	2.3	6,832	44.1	7,073	41.2	3,785	65.2	56.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年2月期2Q	69,588,856 株	24年2月期	69,588,856 株
25年2月期2Q	2,819,584 株	24年2月期	2,399,798 株
25年2月期2Q	66,889,223 株	24年2月期2Q	67,308,714 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。
 なお、業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第 2 四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、緩やかな持ち直しの動きがみられましたが、欧州の債務危機問題に起因する海外経済の停滞などの影響により、国内経済は依然として先行き不透明感が払拭しきれない状況となっております。

このような中で、当社は当第2四半期累計期間において15店の新規出店とリプレースにより旧来型の店舗を1店舗閉鎖し、更なる店舗網の拡充を図ると同時に、商品の品揃えにおいてさらに他社との差別化を図るため、店舗の大型化にも継続して取り組んでまいりました。この結果、当第2四半期末の店舗数は817店舗となっております。

商品別の売上高の動向におきましては、衣料部門は、肌着等の実用衣料をはじめ、夏物アウトウェアも好調に推移いたしました。雑貨部門は、昨年の震災需要の反動などにより衛生育児用品で苦戦した一方、ベビーカーやチャイルドシート等の大型育児用品は堅調に推移しました。

売上総利益におきましては、ベビー・子供衣料の値下げロス率の改善や、相対的に利益率の高い衣料品の売上高構成比が増したことなどで売上総利益率が上昇し、前年同期比で104.8%となりました。

販売費及び一般管理費におきましては、継続して固定費の削減に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は598億1千3百万円（前年同期比101.7%）、営業利益は30億9千万円（前年同期比106.2%）、経常利益は32億9百万円（前年同期比105.7%）となりました。また四半期純利益は17億4千2百万円で、前年同期比では131.0%と大幅な増益となりました。これは、前年同期には資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額4億9百万円や災害損失1億3千5百万円を特別損失に計上しておりましたが、当第2四半期累計期間においては減損損失3千7百万円を計上することとなり、前年同期と比べ特別損失の計上額が大幅に減少しているためであります。

当第2四半期末店舗数817店舗の地域別の状況は、北海道地区36店舗、東北地区71店舗、関東地区226店舗、中部地区139店舗、近畿地区154店舗、中国地区56店舗、四国地区29店舗、九州・沖縄地区106店舗となっております。

なお、当社の事業内容はベビー・子供の生活関連用品の販売事業の単一セグメントのみであるため、セグメントごとの業績の状況の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末における総資産は694億8千9百万円と前期末から21億8百万円の増加となりました。これは、主に現金及び預金が27億2千1百万円増加した一方、商品が6億8千8百万円減少したことなどによりです。

当第2四半期末における負債は198億9千5百万円と前期末から13億4千7百万円の増加となりました。これは、主に未払法人税等が5億7千4百万円増加したことや支払手形及び買掛金が3億3千4百万円増加したことなどによりです。

当第2四半期末における純資産は495億9千3百万円と前期末から7億6千万円の増加となりました。これは、主に四半期純利益17億4千2百万円による増加の一方、配当金の支払6億7千1百万円や自己株式の取得3億円があったことなどによりです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前期末に比べ26億5千1百万円増加し、第2四半期末残高は241億6千3百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金は、38億6百万円の増加（前年同期比37億7百万円増）となりました。これは、主に税引前四半期純利益が31億7千2百万円となったこと、また減価償却費4億7千5百万円の計上やたな卸資産の減少額3億9千3百万円があった一方で、法人税等の支払額9億1千万円があったことなどによりです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金は、6千8百万円の減少（前年同期比7億円増）となりました。これは、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出5億3千1百万円や建設協力金及び敷金・保証金の差入による支出1億5千9百万円があった一方で、約定による建設協力金及び敷金・保証金の回収による収入6億2千2百万円があったことによりです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金は、10億8千6百万円の減少（前年同期比2百万円減）となりました。これは、主に配当金の支払額6億7千1百万円および自己株式の取得による支出3億円があったことなどによります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の業績を踏まえ、平成24年4月3日付「平成24年2月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」において発表いたしました通期の業績予想を変更しております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月20日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,068,649	22,790,449
売掛金	856,564	978,003
商品	19,020,612	18,332,394
未着商品	611,073	906,206
預け金	1,442,954	1,372,838
その他	2,181,673	2,312,251
流動資産合計	44,181,527	46,692,143
固定資産		
有形固定資産	6,479,516	6,502,611
無形固定資産	430,982	430,864
投資その他の資産		
建設協力金	10,719,748	10,260,377
その他	5,569,133	5,603,521
投資その他の資産合計	16,288,882	15,863,899
固定資産合計	23,199,381	22,797,375
資産合計	67,380,908	69,489,519
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,565,091	11,899,612
未払法人税等	978,157	1,552,657
賞与引当金	542,963	545,851
設備関係支払手形	365,603	289,454
その他	3,202,888	3,728,128
流動負債合計	16,654,704	18,015,704
固定負債		
退職給付引当金	373,325	391,899
役員退職慰労引当金	250,400	263,700
資産除去債務	787,494	806,663
その他	482,103	417,841
固定負債合計	1,893,324	1,880,104
負債合計	18,548,028	19,895,809

（単位：千円）

	前事業年度 (平成24年2月20日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,523,031	2,523,031
資本剰余金	2,321,506	2,321,506
利益剰余金	45,927,356	46,998,397
自己株式	△2,172,683	△2,472,696
株主資本合計	48,599,210	49,370,239
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,479	△4,974
繰延ヘッジ損益	12,305	1,259
評価・換算差額等合計	6,825	△3,715
新株予約権	226,842	227,186
純資産合計	48,832,879	49,593,710
負債純資産合計	67,380,908	69,489,519

（2）四半期損益計算書
第2四半期累計期間

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 平成23年2月21日 至 平成23年8月20日）	当第2四半期累計期間 （自 平成24年2月21日 至 平成24年8月20日）
売上高	58,806,367	59,813,211
売上原価	37,629,584	37,613,036
売上総利益	21,176,783	22,200,174
販売費及び一般管理費	18,266,319	19,109,276
営業利益	2,910,464	3,090,898
営業外収益		
受取利息	69,698	65,091
期日前決済割引料	41,068	40,022
その他	23,636	21,376
営業外収益合計	134,403	126,490
営業外費用		
支払利息	7,543	6,481
支払手数料	1,088	1,084
その他	—	526
営業外費用合計	8,631	8,092
経常利益	3,036,236	3,209,296
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	409,088	—
災害損失	135,926	—
店舗閉鎖損失	24,399	—
有形固定資産除却損	7,395	—
減損損失	5,225	37,223
リース解約損	1,854	—
特別損失合計	583,890	37,223
税引前四半期純利益	2,452,346	3,172,072
法人税、住民税及び事業税	1,261,000	1,478,000
法人税等調整額	△139,110	△48,859
法人税等合計	1,121,889	1,429,140
四半期純利益	1,330,456	1,742,931

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成23年2月21日 至平成23年8月20日）	当第2四半期累計期間 （自平成24年2月21日 至平成24年8月20日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	2,452,346	3,172,072
減価償却費	480,104	475,653
減損損失	5,225	37,223
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	409,088	—
災害損失	135,926	—
賞与引当金の増減額（△は減少）	28,513	2,887
退職給付引当金の増減額（△は減少）	20,478	18,573
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	15,450	13,300
受取利息及び受取配当金	△79,730	△72,324
支払利息	7,543	6,481
店舗閉鎖損失	24,399	—
売上債権の増減額（△は増加）	△26,969	△121,439
たな卸資産の増減額（△は増加）	△2,076,028	393,084
仕入債務の増減額（△は減少）	413,535	334,520
その他	26,905	456,226
小計	1,836,788	4,716,260
利息及び配当金の受取額	10,037	7,236
利息の支払額	△7,543	△6,481
災害損失の支払額	△72,004	—
法人税等の支払額	△1,667,520	△910,152
営業活動によるキャッシュ・フロー	99,758	3,806,863
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,033,443	△531,178
建設協力金及び敷金・保証金の差入による支出	△337,230	△159,841
建設協力金及び敷金・保証金の回収による収入	601,611	622,490
投資活動によるキャッシュ・フロー	△769,061	△68,529
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△108,132	△114,747
配当金の支払額	△676,079	△671,890
自己株式の取得による支出	△299,929	△300,012
自己株式の処分による収入	33	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,084,107	△1,086,650
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,753,410	2,651,684
現金及び現金同等物の期首残高	23,565,720	21,511,604
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,812,309	24,163,288

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
当社は、平成 24 年 4 月 3 日開催の取締役会決議により 299,954 千円（419,700 株）の自己株式を取得しております。